

学校だより

学校の教育目標「かしこくて あたたかくて たくましい子」



いじら北っ子

山県市立伊自良北小学校

令和7年6月23日 第3号

〒501-2132 山県市掛217

TEL 0581-36-3352

<https://www.city.yamagata.gifu.jp/site/ijira-kitasyo/>

自然に学び、人とふれあい、心を育てる



6月は、子どもたちの目が輝く場面がたくさんありました。なかでも心に残ったのは、6月2日～3日に実施した5年生の「森と川の学校(南北合同)」です。美山の北山地域の山の中を流れる川。その源流域を訪れ、自然の恵みや山県市の豊かな自然を肌で感じることができました。残念ながら6月3日は雨のため、午前の山の活動は中止になりましたが、午後からは北山奥地の川の上流を見学することができました。子どもたちは歩きながら、「雨なのに、川の水が濁っていない」「この水は、どこから来るの?」と疑問をつぶやいていました。「円原川の伏流水」を見学し、川の始まりを目にしたときには、「今日の雨もまた、川になるんだね」と、自然の仕組みに感動していました。

また、この美しい川で採れる「川のり」についても、講師の山口晋一さんに教えていただきました。「川のり」については、本校の職員が、「子どもの頃に川のりを採って乾かして食べたよ」という話をしていたので、大変驚きました。今は、「川のり」は貴重な物で地域で保護しながら栽培してみえます。山県の自然の恵みや自然環境についても考えるきっかけになりました。

6月は他にも、全校朝の会や全校プールなど、異年齢での活動が充実していました。全校朝の会では、高学年が「次はこうするよ」と下級生に教えながら、全体を上手にまとめています。全校プールでも、着替えの段取りや集合・号令などを高学年が進んで担い、下級生の手本となる姿が輝いていました。

異学年の関わりは、学びの幅を広げます。年上の子は「教える」ことで他者への理解を深め、年下の子は「まねる」ことであこがれや挑戦する心を育みます。そして、それぞれが、違いを受け入れ、他者を尊重する「多様性の感覚」や「今、何が求められているかを考える認知力」を身につけていくと考えます。

7月。いよいよ1学期もまとめの時期となります。これまでに得た自然の学びや人とのつながりを土台に、さらに一人ひとりの成長を見守っていきたいと思います。暑さに負けず、笑顔で過ごしていきましょう。



ホームページに学校の様子を掲載中です。
QRコードからホームページをご覧ください。

伊自良北小学校の

ホームページはこちらから!

「子どもたちの輝き2025」へ

